

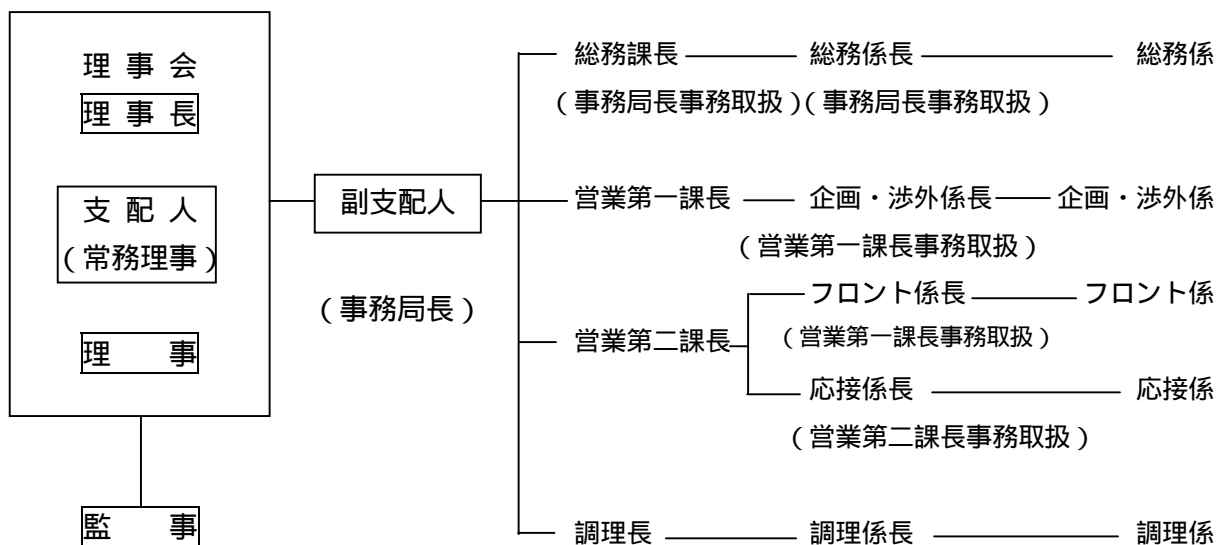
財団法人 北九州勤労総合福祉センター

当法人は、勤労者の福祉の向上に寄与することを目的として、独立行政法人雇用・能力開発機構（旧雇用促進事業団）が設置し、現在、北九州市が所有している北九州勤労総合福祉センターの管理運営並びに諸事業を行っています。

〔設 立〕	昭和 51 年 9 月 28 日
〔所 在 地〕	北九州市八幡西区的場町 1 番 1 号 Tel 093 - 631 - 5582
〔目 的〕	勤労者の福祉に関する事業を総合的に行い、もって勤労者の福祉向上に寄与すること。
〔事 業〕	(1)北九州勤労総合福祉センター（ハイツ）の管理及び運営 (2)勤労者の教養、体育及び文化の向上のための諸事業 (3)上記の目的を達成するために必要と認める事業
〔基本財産〕	2,000千円 ＜うち本市出捐額 2,000千円（100.0%）＞
〔決算期〕	毎年3月31日
〔主務官庁〕	福岡県
〔本市所管〕	保健福祉局総務部総務課（Tel 093 - 582 - 2403）

1 法人の組織

(1) 機構図



(2) 役職員数

	人数	平均年齢			
		うち本市出向者	うち本市退職者	うちその他	
役員	10人	9人	1人	0人	56歳
職員	22人	1人	0人	21人	49歳

(3) 役員名

〔理事長〕 麻田 千穂子

〔常務理事〕 橋本 朋雄

〔理事〕 大庭 清明、谷 史郎、小村 洋一、宮野前 敏雄、山口 彰、南 政昭

〔監事〕 疋田 慶一、東 博幸

2 事業概要等

宿泊、宴会、会議・研修、婚礼、テニスコート等

3 主な事業実績（平成18年度）

(1) 施設の利用状況

（単位：人）

区 分	17年度	18年度	増減
宿 泊	15,058	14,874	184
会 議 ・ 研 修	48,897	51,296	2,399
レストラン・喫茶・宴会	81,626	81,868	242
結 婚 関 係	998	296	702
売 店 ・ そ の 他	15,757	15,105	652
野 外 活 動 施 設	19,730	18,298	1,432
合 計	182,066	181,737	329

(2) 18年度事業概要

収入増対策

- (ア) レストランでは、月1,000食の販売を目標に掲げ、月ごとに旬の素材を使った新企画メニューを研究し、手頃な価格（1,300円）で販売した。（11,342食 月平均945食）
- (イ) 八幡西区の市民センター33館と連携して、順番制で毎月試食会を行い、主婦層の意見を反映させ、より充実したメニューを制作した。
- (ウ) フリーエージェント制度を立ち上げ、スポーツ団体に強みのある人材を活用し、誘客につなげた。
- (エ) 宿泊収入を伸ばすために、市内や周辺企業23社と宿泊割引契約を締結した。また、宿泊予約サイト（ジャランネット）を追加し、計3社とした。

集客増対策

- (ア) レストラン利用を促進するため、ポイント制の利用サービス券を発行した。(売上に対して5%の還元)
- (イ) 企業・官庁・地域団体等の対象区分毎に戸別訪問するとともに(広告宣伝チラシ10,000枚)適宜、ダイレクトメール(同1,500枚)を送付した。
- (ウ) 市政だより、旅行雑誌(じゃらん)料理雑誌(ナッセ)地域情報誌(リビング北九州)等の各種広告媒体を利用した宣伝活動を行った。
- (エ) 職員により宣伝チラシを近隣地域に戸別配布したほか、市民の集まる市民センター等の公共施設で掲示・配布した。(3,000枚/月)
- (オ) 平日対策として、葬祭場専用割引宿泊券(素泊まり3,900円)を発行した。
- (カ) 法事等慶弔の会席には、志として初盆参りの書簡文と線香の詰合わせを提供した。(法事会席198件3,446人から247件4,172人 24.7%増)
- (キ) 観光客・団体客・修学旅行客(35校 2,341人、前年対比 7校、1,078人減)等の宿泊客の誘客を図るため、広島、愛媛、宮崎、鹿児島、長崎各県のエージェンツ訪問を実施した。
- (ク) 写真展、絵画展、盆栽展、書道展等の地域ぐるみのイベントを開催した。
- (ケ) インターネット利用者の増大に対応するため、ホームページの内容を充実・改訂した。
- (コ) 小学生から大学生までのスポーツクラブ等合宿・遠征用として、1泊2食5,500円(小学生は500円引、引率者・同伴者は500円増)の合宿プランを提供した。

4 市の関与の状況

(単位：千円)

区 分	平成17年度	平成18年度
出 捐 金 の 状 況	2,000	2,000
補 助 金	7,310	8,478
委 託 料	0	0
貸 付 金 残 高	0	0

5 資産・収支の状況（平成 18 年度決算）

(1) 貸借対照表

平成 19 年 3 月 31 日現在（単位：円）

科 目	金 額	
資 産 の 部		
1 流 動 資 産		
現 金 預 金	38,427,195	
売 掛 金	6,497,417	
材 料 商 品	3,430,641	
貯 蔵 品	234,850	
前 払 費 用	14,960	
流動資産合計		48,605,063
2 固 定 資 産		
基 本 財 産		
定 期 預 金	2,000,000	
基本財産合計	2,000,000	
有形固定資産		
建 物	24,539,013	
建物付属設備	673,087	
構 築 物	1,131,955	
機 械 装 置	585,398	
工具器具備品	3,433,048	
一括償却資産	85,715	
有形固定資産合計	30,448,216	
無形固定資産		
電 話 加 入 権	829,380	
無形固定資産合計	829,380	
その他固定資産		
退職積立預金	31,000,000	
厚生貸付金	292,000	
保 証 金	50,000	
その他固定資産合計	31,342,000	
固定資産合計		64,619,596
資 産 合 計		113,224,659

科 目	金 額	
負債の部		
1 流動負債		
買掛金	9,052,315	
未払金	21,887,218	
未払法人税等	80,000	
未払消費税等	1,372,500	
前受金	280,768	
預り金	1,526,909	
流動負債合計		34,199,710
2 固定負債		
退職給付引当金	31,000,000	
固定負債合計		31,000,000
負債合計		65,199,710
正味財産の部		
正味財産		48,024,949
(うち基本金)		(2,000,000)
(うち当期正味財産減少額)		(22,435,424)
負債及び正味財産合計		113,224,659

(2) 収支計算書

自 平成 18 年 4 月 1 日
至 平成 19 年 3 月 31 日 (単位: 円)

科 目	決算額
収入の部	
1 基本財産運用収入	0
基本財産利息収入	0
2 事業収入	307,871,084
宿泊収入	75,979,935
飲食料収入	162,181,321
結婚関係収入	5,130,233
使用料収入	27,937,583
売店収入	12,048,437
奉仕料収入	21,943,543
講座収入	471,429
雑収入	2,178,603
3 事業外収入	8,956,472
補助金収入	8,477,816
受取利息	23,238
雑収入	455,418
4 特定預金取崩収入	10,404,625
退職給与取崩収入	10,404,625
5 厚生貸付戻り収入	276,800
厚生貸付戻り収入	276,800
当期収入合計 (A)	327,508,981
前期繰越収支差額	34,391,459
収入合計 (B)	361,900,440
支出の部	
1 事業費	324,263,708
役員給与	88,965,233
賃金	38,921,184
退職掛金	10,284,180
法定福利費	9,966,898
福利厚生費	1,591,620
調理材料費	65,186,425
飲物材料費	10,869,624
喫茶材料費	1,097,847
商品仕入費	10,492,207
その他仕入費	2,790,546

科 目	決算額
光 熱 水 費	35,613,705
消 耗 備 品 費	469,079
消 耗 品 費	5,488,342
廣 告 宣 伝 費	2,259,732
通 信 運 搬 費	1,217,284
車 兩 經 費	1,372,123
旅 費 交 通 費	495,470
印 刷 製 本 費	120,001
修 繕 費	6,021,910
委 託 費	12,138,292
講 座 費	484,246
保 險 料	483,380
租 稅 公 課	183,900
諸 謝 金	2,826,336
賃 借 料	6,500,271
負 担 金	1,289,313
雜 費	7,134,560
2 事 業 外 費 用	1,118,182
貸 倒 損 失	1,072,922
雜 損 失	45,260
3 固 定 資 産 取 得 支 出	128,572
一 括 償 却 資 産 購 入 支 出	128,572
4 特 定 預 金 支 出	21,904,625
退 職 積 立 預 金 支 出	21,904,625
5 法 人 税 住 民 税 事 業 税	80,000
当期支出合計 (C)	347,495,087
当期収支差額 (A) - (C)	19,986,106
次期繰越収支差額 (B) - (C)	14,405,353